

vol.3



ICTセンター通信



CONTENTS	
◆ICTセンター情報システム室からのお知らせ	
・Windows 7 サポート終了(再掲).....	1
・セキュリティ関連情報.....	2
◆情報システム室レポート	
・第31回情報処理センター等担当者技術研究会 参加報告.....	3
・第14回 国立大学法人情報系センター研究集会・第23回学術情報処理研究集会 参加報告.....	3
・ソフトウェアの不正コピー・不正使用について.....	4
◆編集後記	4



◆ ICTセンター情報システム室からのお知らせ

● Windows 7 サポート終了(再掲)

2020年1月14日にWindows 7の延長サポート期間が終了します。以降はWindows Updateなどの新しいパッチ等の配信・OSの更新がされません。

更新されなくなったOSはコンピュータウイルスや悪意ある攻撃等の被害に遭いやすく、そのまま使用するのは危険です。また、サポートの終了したOSが入った端末による学内ネットワークへの接続は禁止されております。サポートが切れたOSのPCは学内で使用しないでください。オフラインで使用する場合でもサポート中のOSの使用を推奨します。

サポートが有効なWindows 10への移行の程よろしくお願いいたします。



●セキュリティ関連情報

●「Emotet」の感染に注意

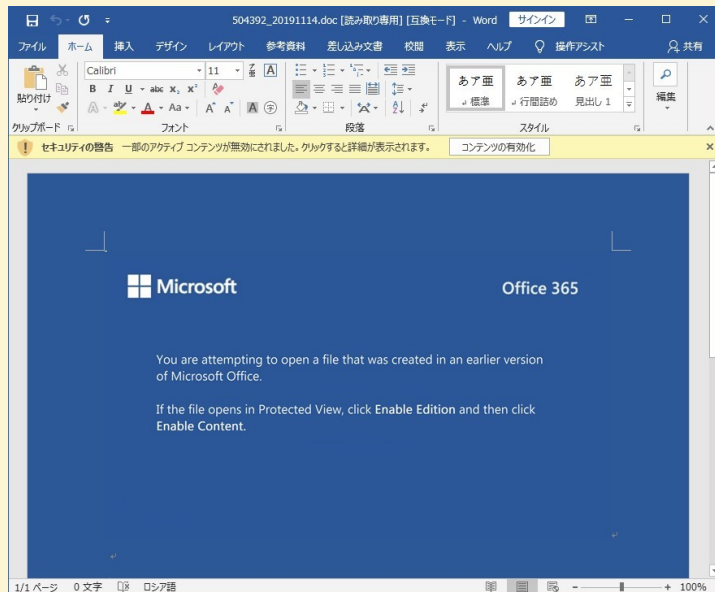
非常に巧妙な標的型攻撃メール「Emotet」が猛威を振るっています。特徴は下記の通りです。

- ・知っている人(アドレス)から届く
- ・過去にやり取りしたメールの文面を引用する
- ・添付されたWordファイルのマクロを実行すると即ウイルス感染

身に覚えのない添付ファイルを開かないことはもちろんですが、覚えがあってもセキュリティ警告が表示されたら「コンテンツの有効化」ボタンの押下はくれぐれも慎重におこなってください。詳細と対策については下記参考サイトを是非お読みください。

《参考サイト》マルウェア Emotet の感染に関する注意喚起(JPCERT/CC)

<https://www.jpccert.or.jp/at/2019/at190044.html>



開いてしまった時の画像

●記録メディア破壊装置について

とある自治体の廃棄パソコンのハードディスク(HDD)が盗み出された後に転売され、大量の個人情報が出たという報道がありました。個人情報を扱ったパソコンに内蔵されたHDDや記録したCD-Rなどのメディアは磁気・物理的に破壊して廃棄すると安心です。そこでICTセンター情報システム室には各種記録媒体を破壊する装置がありますのでご紹介します。

- ・ハードディスク磁気破壊装置…HDD、FD、VHS、DAT など
- ・ハードディスク物理破壊装置…HDD(3.5”、2.5”)
- ・マルチメディアシュレッダーCD/DVD、DDS、3.5”FD/MO/ZIP



利用希望される場合はICTセンター情報システム室へご相談ください。詳しくはICTセンター情報システム室のWebサイト内「記録メディアの破壊(利用環境について [PDF])」をご覧ください。

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>

◆ 情報システム室レポート

● 第31回情報処理センター等担当者技術研究会 参加報告

2019年9月5日(木)～6日(金)、筑波大学にて第31回情報処理センター等担当者技術研究会が開催され、本学ICTセンターから前田係長、久保技術職員が参加しました。北は旭川医科大学、南は琉球大学まで、国公立合わせて全国43の大学・大学院大学・機構より情報処理センター等担当者計76名が参加しました。

本会は、2日間通して各大学の日々の業務報告や研究発表が行われ、インシデント対応、リプレイス報告、業務に係る新システムの開発等、各大学の情報系センターの様々な課題やその取り組みについて聴くことができ、各発表後には質疑応答が行われ、活発な意見交換がなされました。

1日目には招待講演として、福岡大学情報基盤センターの藤村丞准教授より「福岡大学公開NTPサービスから見る考察」と題し、NTP(ネットワークに接続されたコンピュータや各種機器の時刻同期を行う方法)による国内初のインターネットでの時刻サービスを開始したことによる今までの苦労話を伺いました。大学へのトラフィックが多すぎて限界がきているためサービスを停止したいが、全世界から未だにアクセスがあるため頭を悩ませているとのことでした。

1日目の最後には情報交換会が開催され、他機関の情報処理センター等担当者の方々との情報交換と交流をすることができました。また、2日目研究会終了後には、筑波大学学術情報メディアセンターを見学することが出来、筑波大学で使われているサーバ・ネットワーク機器や端末教室の規模の大きさを目の当たりにしました。更に近くの筑波宇宙センターの見学も盛り込まれ、JAXAのお仕事も知ることが出来て楽しかったです。



● 第14回 国立大学法人情報系センター研究集会・第23回学術情報処理研究集会 参加報告

2019年9月25日(水)～26日(木)、北見工業大学にて第12回 国立大学法人情報系センター研究集会と、第21回学術情報処理研究集会が開催され、本学ICTセンターから久保技術職員が参加しました。

1日目は基調講演として「情報セキュリティマネジメントシステムの適用領域の拡大と期待される効果」というテーマで(株)日本環境認証機構ISビジネスユニット長の井上順司氏から発表があり、続いて各大学から情報セキュリティについての発表が行われました。

2日目は、「システム管理」、「情報システム」、「ネットワーク・認証」、「教育支援」の4つのテーマについて発表が行われました。Office365の多要素認証についての発表もあり、本学の今後の運用にも参考になる情報を聞くことができました。

【参考】<http://www.nipc.med.tuat.ac.jp/home/jacn/annai/jacn23rd-info>

● ソフトウェアの不正コピー・不正使用について

2019年9月号の国立大学リスクマネジメント情報に特集として「ソフトウェアの不正コピー・不正使用」が掲載されていまして、ご紹介します。

ソフトウェアの使用許諾契約書に書かれた条件を逸脱し、インストール可能な台数を超えてコピーすることは**不正コピー**にあたります。

また、不正にコピーしたソフトウェアや違法に入手したライセンスキー等がインターネット上のサイトで販売されていたり、不正にアップロードされているものを使用するのも**違法**です。

非正規のソフトウェアを利用している場合は、使用者本人はもちろん、大学の管理責任が問われ**高額な賠償**を求められる場合がありますので絶対におやめ下さい。

詳しくは以下のURLにpdfが公開されておりますのでご参照下さい。

<国立大学リスクマネジメント情報 2019年9月号>

https://www.janu-s.co.jp/uploads/mail_magazine/2019/201909.pdf



編集後記

今年もいつの間にか年の瀬を迎えました。確か10月はまだ暑い日があったはずなのに、もう既にそんなことは記憶の彼方に行ってしまい、11月なのに1月を思わせる気温と言われると、【秋】の存在を懐かしく思う今日この頃です。秋って…来てましたっけ。

令和元年最後の発行となります今回の「flick!」ですが、中身は盛り沢山でお届けいたします。標的型攻撃メールも巧妙になってきています。自分には届かないだろうという思いは、もう捨て去った方が良さそうです。自分にも来る可能性があることを念頭に置いて、メールを利用していただきたいと思います。また、実はセンターには記録メディアの破壊装置があります。こちら是非ご利用ください。生のまま燃えないゴミに出したら危ないですよ！

昨今インターネットの普及が驚くほど早いスピードで進化しています。色々追いつかないところもあるかと思いますが、なるべく旬の話題を提供できればと思っています。来年もどうぞよろしく願いいたします。(前)



国立大学法人 東京学芸大学

ICTセンター 情報システム室

□TEL 042-329-7710 □FAX 042-329-7711

□URL <http://www.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>

□E-mail ipcenter@u-gakugei.ac.jp